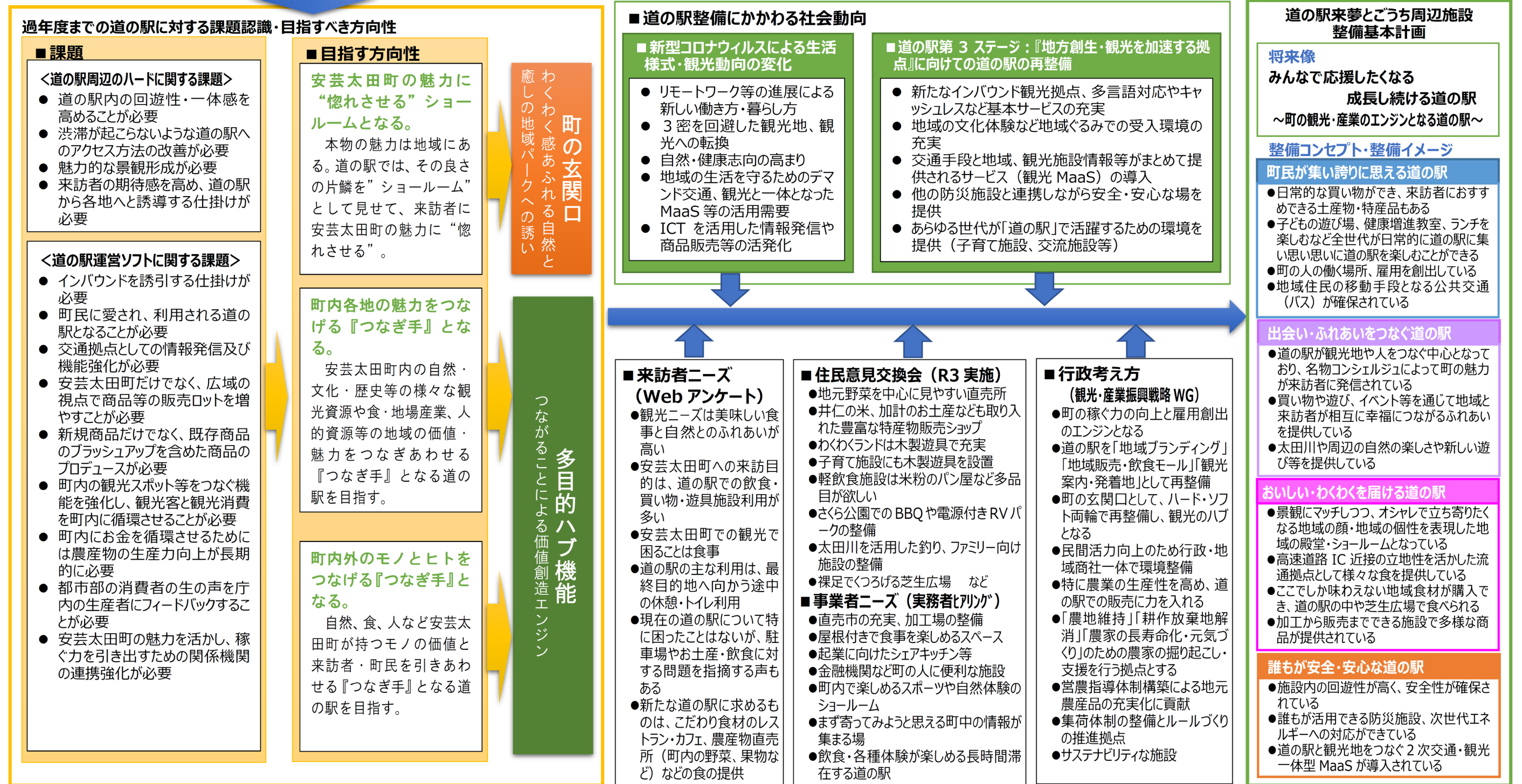


# 資料2 事業計画案

## 1. コンセプトの再整理

### (1) 昨年度検討のコンセプトの確認

令和2-3年度での再整備基本計画の検討において、整理されている道の駅来夢とごうちの課題から再整備コンセプトは以下のようになっています。



(2) 道の駅来夢とごうちの目指す方向性と価値について

今年度実施した来訪者アンケートや既存事業者ヒアリング、ミーティングを踏まえて、昨年度整理したコンセプトの検証を行い方向性の妥当性が確認できました。なお、コンセプトを実現する安芸太田町らしい道の駅とするための具体的なテーマ性を整理するために、今年実施した各種調査から、道の駅から町内各地につなげるために必要なものや価値について検討しました。

### 道の駅の大きな役割は 町内各地に人を「つなげる」こと

+ 町民の日常生活に役立つ機能 = 道の駅の経営安定化

- 町内の観光・産業に活力を与え、地域で稼ぐためのエンジンとなるためには、道の駅だけで活動を完結させず、「安芸太田町にはこんな素晴らしい魅力・ことがある」ことを伝えることが重要。
- 各地に人の行き来が波及すれば、観光拠点や観光産業により刺激を与え、来訪者だけでなく、町民からも愛される、応援したくなる道の駅につながる。
- そのため、新生道の駅は、安芸太田町の魅力を伝える「ショールーム」であることが必要。

[ショールームの狙い]  
来訪者に安芸太田町を“惚れさせる”ことを狙った、以下の機能を展開する場を想定。

- ① 安芸太田町の魅力を伝えるプレゼンテーションの場
- ② リピーターを飽きさせない、新鮮な情報発信をしつづける場
- ③ 新しい来訪者に興味を持ってもらう場
- ④ 観光地・飲食店・宿泊業・アクティビティ等の関係施設や人をつなげる場

**道の駅でしかできないことは道の駅で、  
地域でできることは地域にまかせるが基本。本物は地域にあり！**

町の玄関口として、町内各地をつなぎ、  
町内の各地に活動が波及する「きっかけ」となる道の駅へ  
- 主役は地域！稼ぐ地域へのエンジン -

### 「つなげる」ために何が道の駅に必要なか？ 何が価値になるか？

★今年度新たに実施した調査

**来訪者アンケート調査（夏季）結果**

- 安芸太田町内の目的地
  - ・ 道の駅目的の利用が約 38%であり、町内各地への誘導が求められる
- 道の駅の利用目的
  - ・ 休憩や買い物、食事の利用が主となっている
- 再整備への期待
  - ・ 農産物・食事・お土産へのニーズが高く、次いで、子ども用施設、イベントのニーズがある

**既存事業者ヒアリング・ミーティング結果**

- ・ 道の駅の役割は「ハブ的機能」であり「ビジターセンター機能」が求められる
- ・ 「情報発信基地」として安芸太田町内の観光・アウトドア施設につなげる役割が重要である。
- ・ 観光客をターゲットにしたおもてなしが重要である。
- ・ 様々な食が味わえる「フードコート」が適切ではないか。
- ・ 「産直市」や「特産品」を売りにすることがよい。
- ・ 温泉の活用として「足湯」等の機能の付加はどうか。

**調査結果を踏まえた再整備のポイント・価値**

- **立ち寄り場所としての必要機能の充足**  
⇒ トイレ、休憩（食事、軽食）、買い物（土産、農産物）
- **農産物・お土産が購入できる、食事ができる**  
⇒ 子ども用施設やイベントは2次的ニーズ。
- **町内観光地へ誘客する仕組み（ツアーデスク・コンシェルジュ）**  
⇒ 利用者の4割は道の駅だけ、町内観光拡大の可能性あり

**安芸太田町内の観光資源につなげるために、  
「食」「特産品」「情報」の提供が軸となる。**



## 2. 導入機能の整理

### (1) 道の駅の方向性・コンセプトからの基本機能

前段にて整理した道の駅の役割・コンセプトを受けて、求められる機能を整理すると、以下のように、「メイン機能」と「サブ機能」として整理できる。

求められる機能（必要最低限）：メイン機能	
飲食（様々な飲食店）、物販（特産品販売、農産物直売）、観光案内、駐車場	
その他：サブ機能	遊具（わくわくランド）、交通（バス停・待合）、金融（JA窓口）

※その他は、現状及びサブテーマからの想定、この他の可能性のある機能は今後の検討、民間提案に期待…ヒアリング結果を今後反映していく

### (2) 基本的な機能と機能別面積（最低限）の整理

上記の基本機能を基本にしつつ、関係者ヒアリングや当事者ミーティング、事業者ヒアリングなどを踏まえて、道の駅の基本的な機能と必要最低限の面積規模を以下に整理する。

#### 基本的な機能

##### ■道の駅施設（北側）

項目	内容	規模	備考
観光案内	観光案内所	130 m <sup>2</sup>	道路・地域・観光情報の提供、自然学習拠点 川遊びなどの器具レンタル、移住定住支援等
飲食	フードコート	350 m <sup>2</sup>	100席程度
	テナント	160 m <sup>2</sup>	8店舗程度
物販	特産物販売ショップ	140 m <sup>2</sup>	特産品や加工品の販売
	農産物直売所	225 m <sup>2</sup>	新鮮野菜の販売（既存直売所の移転）
	テナント	20 m <sup>2</sup>	1店舗程度
交通	バス待合所	10 m <sup>2</sup>	別棟でも可能
その他	トイレ	295 m <sup>2</sup>	
	事務所	130 m <sup>2</sup>	地域商社の事務所含む
	機械室等	290 m <sup>2</sup>	
	倉庫・共用部	790 m <sup>2</sup>	
合計		2,540 m <sup>2</sup>	

##### ■屋外施設

項目	内容	規模	備考	
北側	わくわくランド	1,470 m <sup>2</sup>	新設遊具(屋根付き) 既存：1,470 m <sup>2</sup> (屋根なし)	
	駐車場	乗用車	230台	
		二輪車	上記含む	ツーリング利用客用
		大型車	5台	大型トラックや観光バス用
	バス停・転回所	1箇所		
バックヤード	必要規模	搬出入用		

#### 導入を検討する機能

##### ■既存の施設：道の駅に導入するか検討が必要

項目	内容	現行規模	備考
北 or 南側	コンビニ	187 m <sup>2</sup>	既存店舗 必要に応じて敷地内移転 建物付近に駐車場が必要（10台程度）
物販	ビール 工房	145 m <sup>2</sup>	既存店舗 新道の駅への合築を検討中
	販売・飲食 工場等		
利便施設	JA	1,035 m <sup>2</sup>	既存建物敷地活用の場合に事務等機能を移転
	ホームセンター	4,300 m <sup>2</sup>	既存店舗
別敷地	上殿さくら公園	4,282 m <sup>2</sup>	既存公園の利活用

##### ■導入を期待する機能

項目	内容	規模	備考
北側	子育て支援 スペース	60 m <sup>2</sup>	わくわくランドと一体利用可能 お悩み相談や絵本図書館、親子遊び場
	イベント広場	1,350 m <sup>2</sup>	休憩やイベント用に一部屋根付きを検討 イベント時は駐車場との兼用も可能
南側	フリーサイト	200 m <sup>2</sup>	太田川を見ながら休憩・BBQ等ができる
	RVサイト	450 m <sup>2</sup>	
	トイレ	295 m <sup>2</sup>	既存トイレを存置予定
利便施設	コインランドリー コインシャワー	40 m <sup>2</sup>	

